



## ゆるやかに元の学校生活へ



### 生徒のみなさんへ

#### ● 授業保護者参観 ●

4月21日は、コロナの状況が以前より比較的落ち着いてきていることを受け、北九州市のコロナ対応マニュアルに沿った形で、4年ぶりに保護者を招いての授業参観を行いました。皆さんにとって、もちろん保護者の皆様にとっても中学校で初めての授業参観です。久しぶりに多くの保護者の方々に見守られながらの授業でしたので、生徒の皆さんはいつもより緊張していた様子でしたね。保護者の皆さんにとっては、待ちに待った参観行事ということもあり、多くの方々に参加していただきました。帰り際の保護者の皆様の表情を拝見しますと、たくさんの笑顔があったことが何よりです。保護者の皆さん同士のコミュニケーションも久しぶりに行えたようで良かったです。



さて、5月8日からは新型コロナウイルス感染症の法律上の分類がインフルエンザと同じ5類に引き下げられます。このことを受け、これからは元の学校生活へと徐々に戻っていくことが予想されます。ただし、分類が引き下がると言っても、これまでもインフルエンザが流行する時期というのは、細心の注意を払って生活していたということを忘れてはいけません。毎日の体調の確認、換気や手洗い・消毒などは、これからも常に行っていく必要があります。一気に油断した生活に戻ることはないよう、皆で声を掛け合うなどして気を付けながら過ごしていきましょう。



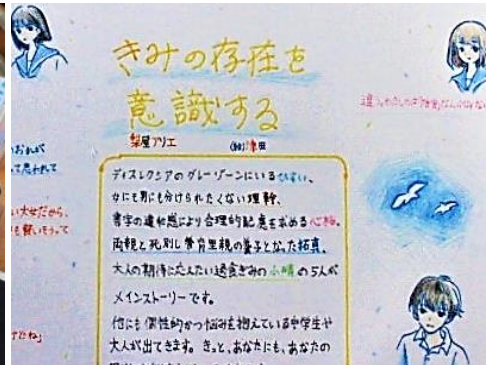
## ● 進路・修学旅行説明会 ●

4月21日、3年生は授業参観ではなく、進路・修学旅行説明会が行われました。3年生に限らず、皆さんは全員、中学校を卒業する前に受験（受検）を経験します。つまり、小学校や中学校といった義務教育が終わると、自分の進路を自分で決め、生まれて初めて「選ばれる」という厳しさに直面することになります。社会に出る第一歩の経験と言ってよいでしょう。3年生は、これから自らの意志で具体的な進路を決め、それに向けて努力を重ねていきます。これは、自分を大きく成長させる大切な経験になります。そのように、受験をポジティブにとらえ、一年後の新しい生活のイメージを持って、諦めず、学習や学校行事等、毎日の生活に全力で取り組んでくれることを期待しています。



## ● 子ども読書の日 ●

4月23日は「子ども読書の日」ということで、4月21日に読書の取組を行いました。22年前、日本の国を挙げて、「子ども達に本を読ませたい」「子ども達が本に親しむ環境を整備したい」という思いから、「子どもの読書活動推進法」という法律とこの記念日が誕生しました。5月12日までの20日間は、「子どもの読書週間」とされています。たくさん本を読んで、素敵な一冊に出会えるといいですね。皆さんが心静かに集中して読書する姿はとても素晴らしく、この取組をきっかけに、さらに読書に親しみ、素晴らしい本と出会ってほしいと思います。



写真上段：心を落ち着け、じっくり読書をしている皆さんの様子。下段：読書の次の時間は、自分が選んだ本の紹介となる掲示物をつくりました。この本に興味を持ち、手に取る人が少しでも増えるようにと、人をひきつける魅力あるイラスト・レタリングやキャッチーな言葉・文章など、それぞれ皆さんの工夫が光る掲示物ができましたね。



## 転入職員紹介

随分遅れましたが、本年度新しく転入した職員を紹介します(教科:前任校)。前列左から、〇〇(社会:山陽学園)〇〇(英語:南曾根中)林(校長:熊西中)〇〇(国語:小倉北特別支援学校)〇〇(家庭:新規) 後列左から、〇〇(事務:北方小)〇〇(数学:永犬丸中)〇〇(保健体育:新規)〇〇(数学:三郎丸小)〇〇(指導教員:広徳中) 上段囲み左から、〇〇(保健体育:白銀中)〇〇(美術:霧丘中)〇〇(学校支援:吉田中)

どうぞよろしくお願ひいたします。